

秋田県内初の雪冷房公共施設

横手市総合交流促進施設

あさくら館



〒013-0028

秋田県横手市朝倉町6番38号

横手市総合交流促進施設 あさくら館

(朝倉公民館・横手生涯学習センター)

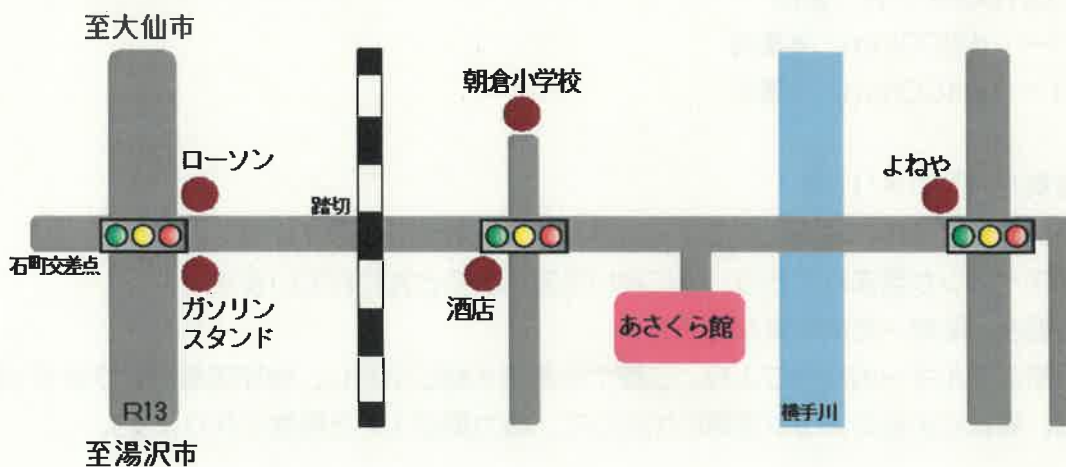
TEL 0182-35-2138

FAX 0182-32-8648



雪貯蔵庫

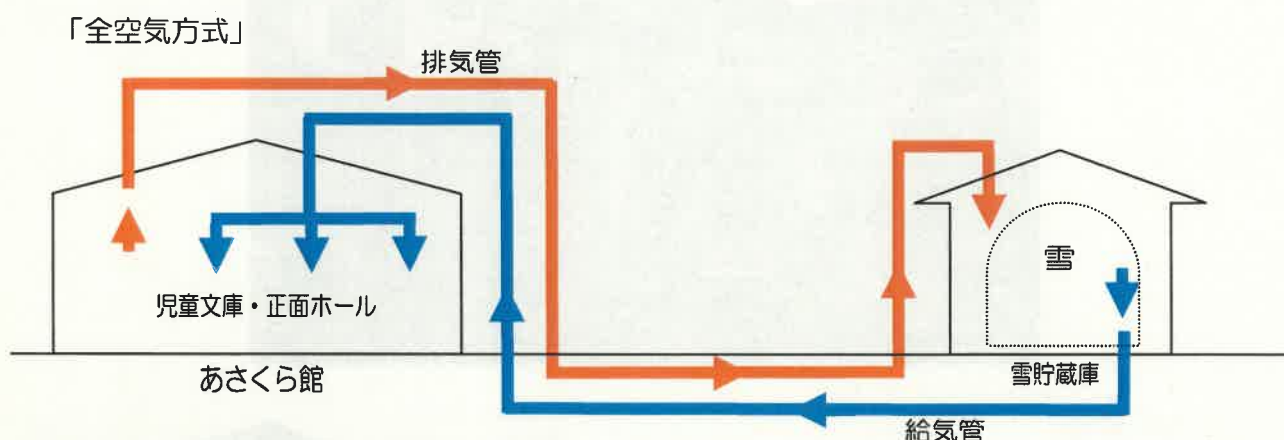
交通案内



あさくら館の雪冷房システムのあらまし

横手市総合交流促進施設「あさくら館」は、秋田県内初の雪冷房公共施設として平成14年8月に完成しました。コミュニティー活動、健康増進活動、児童・高齢者福祉活動を通じて交流を促進し、地域の発展を図ることを目的として、事業費608,600千円（本体525,538千円、雪冷房関係30,975千円、外構29,957千円等、内、地域総合整備事業債443,800千円）で、平成13年9月から約10ヶ月の工期で完成しました。

あさくら館の雪冷房システムは、玄関から入った正面のホール部分（72㎡）と隣接する児童文庫部分（64㎡）の計136㎡（約41坪）について、「全空気方式」（熱交換を行わず、直接冷気を送風するシステム。代表的な雪冷房システムとしては「全空気方式」の外に「冷水循環方式」があります。）で冷房しています。平成14年8月の完成時点で、あさくら館の雪冷房用貯雪量236tは「全空気方式」としては国内最大（冷水循環方式等も含む全雪冷房施設では国内第4位）の規模のものとなっています。



○あさくら館の雪冷房システムの概略

- ① 送風機であさくら館の暖かい空気を送り出す
- ② 送風管（約50m）を經由
- ③ 貯雪庫内で空気は冷気となる
- ④ 送風管經由
- ⑤ 約10℃～15℃の冷気があさくら館へ

○雪冷房施設のあらまし

- ・雪貯蔵庫 床面積 124.63㎡、内法面積（貯雪有効面積）104.88㎡、雪貯蔵庫体積 471m³、貯蔵雪重量 236t
- ・送風管 カナパイプ 400mm、延長約 50m×2、地中埋設
- ・送風機 片吸込シロッコ型天井型 5,100m³/h 2台
- ・変风量装置 5,100m³/h 2台
- ・吹出口ルーパー φ200mm、4箇所
- ・吸込口ルーパー φ400mm、1箇所

○雪冷房（全空気方式）のメリット

- ・エアコンと違い、湿度の高い冷風なので、人に優しい（肌触りの良い）冷房です。
- ・雪にはマイナスイオンが含まれており、体に良い冷房になると言われています。
- ・全空気方式の場合、防塵・防臭効果があります。
- ・クリーンな自然エネルギーの利用により、二酸化炭素を大幅に削減し、地球環境を守ります（あさくら館の場合、電気によるエアコン冷房と比較して、電力量が1/3程度となります）。